

第74回日本公衆衛生学会総会（長崎県・長崎市）のまとめ

1 名誉学会長・名誉顧問・学会長・副学会長・顧問・監事

名誉学会長	中村 法道	長崎県知事
名誉顧問	田上 富久	長崎市長
学会長	青柳 潔	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科公衆衛生学教授
副学会長	蒔本 恭	長崎県医師会長
	伊東 博隆	長崎県福祉保健部長
	安田 静馬	長崎市市民局市民健康部長
顧問	片峰 茂	長崎大学学長
監事	遠藤 一郎	長崎県福祉保健部福祉保健課参事
	高木規久子	長崎市市民局市民健康部地域保健課長

2 開催日

平成27年11月4日（水）～6日（金）

3 開催地

長崎県長崎市

4 会場

長崎ブリックホール
（〒852-8104 長崎市茂里町 2-38）
長崎新聞文化ホール
（〒852-8104 長崎市茂里町 3-1）

5 メインテーマ

ライフステージに合わせた健康づくりを目指して

6 意見交換会

日時…平成27年（2015）年11月5日（木）
19：30～21：00
会場…ホテルニュー長崎 3階 鳳凰閣 西

7 参加者数

有料入場者数 3,341人（うち事前登録者2,202人）

都道府県	事前参加登録	当日参加登録	総数	%
北海道	56	28	84	2.51%
青森県	19	6	25	0.75%
岩手県	22	9	31	0.93%
宮城県	44	26	70	2.10%
秋田県	32	7	39	1.17%
山形県	11	4	15	0.45%
福島県	33	9	42	1.26%
茨城県	64	26	90	2.69%
栃木県	31	16	47	1.41%
群馬県	29	12	41	1.23%
埼玉県	140	27	167	5.00%
千葉県	68	30	98	2.93%
東京都	416	232	648	19.40%
神奈川県	109	34	143	4.28%
新潟県	30	8	38	1.14%
富山県	25	7	32	0.95%
石川県	27	13	40	1.20%
福井県	4	3	7	0.21%
山梨県	29	2	31	0.93%
長野県	20	5	25	0.75%
岐阜県	20	6	26	0.78%
静岡県	31	9	40	1.20%
愛知県	114	42	156	4.67%
三重県	39	24	63	1.89%
滋賀県	25	13	38	1.14%
京都府	58	35	93	2.78%
大阪府	144	72	216	6.47%
兵庫県	70	36	106	3.17%
奈良県	30	13	43	1.28%
和歌山県	12	8	20	0.60%
鳥取県	12	7	19	0.57%
島根県	24	8	32	0.95%
岡山県	51	28	79	2.36%
広島県	37	21	58	1.74%
山口県	20	14	34	1.01%
徳島県	11	3	14	0.42%
香川県	15	5	20	0.60%
愛媛県	19	10	29	0.87%
高知県	11	4	15	0.45%
福岡県	61	62	123	3.68%
佐賀県	20	13	33	0.99%
長崎県	77	134	211	6.31%
熊本県	37	25	62	1.85%
大分県	15	11	26	0.78%
宮崎県	11	9	20	0.60%
鹿児島県	12	13	25	0.75%
沖縄県	17	-9	26	0.78%
中国	—	1	1	0.02%
合計	2,202	1,139	3,341	100%

8 総会・特別プログラム等

〈第1日目 2015年11月4日(水)〉

第1会場(長崎ブリックホール 2階 大ホール)

9:50~10:30

学会長講演「介護予防と運動器の健康」

座長:磯 博康(大阪大学大学院医学系研究科
公衆衛生学教室)

演者:青柳 潔(長崎大学大学院医歯薬学総合
研究科公衆衛生学分野)

10:35~12:05

招待講演「いつもチャレンジ精神で」

演者:草野 仁

13:25~14:10

総会 13:25~14:10

14:20~15:20

特別講演1「近代医学の誕生—公衆衛生分野に力
点を置いて—」

座長:草野 洋介(長崎女子短期大学生活創造学
科)

演者:相川 忠臣(長崎大学名誉教授,日本赤十
字社長崎原爆病院)

15:30~17:20

メインシンポジウム1「ライフステージに合わせた
健康づくり」

座長:本田 純久(長崎大学大学院医歯薬学総合
研究科地域リハビリテーショ
ン学分野)

永田 智子(東京大学大学院医学系研究科
地域看護学分野)

演者:母子保健領域における健康づくり

山縣然太郎(山梨大学大学院総合研究部
医学域社会医学講座)

ライフステージに応じた多様な働き方と健康

可知 悠子(日本医科大学衛生学公衆衛
生学)

ライフステージに合わせた健康づくりを
目指して—学校保健の立場から—

中村 晴信(神戸大学大学院人間発達環
境学研究科)

ライフステージに合わせた健康づくり—
看護・介護の立場から—

永田 智子(東京大学大学院医学系研究

科地域看護学分野)

第2会場(長崎ブリックホール 3階 国際会議場)

14:20~16:10

シンポジウム1「大規模災害から健やかな日常生活
への円滑な復興にむけて」

座長:岩室 紳也(ヘルスプロモーション推進セ
ンター)

中村 安秀(大阪大学大学院人間科学研究
科)

演者:こころとからだづくりの支え合いを推進
するために

佐藤 由理(女川町役場健康福祉課)

今を生きるためのコミュニティづくりで公
衆衛生,専門性を持った個人が果たすべき
役割

斎藤 恵子(郡山市保健所)

終わりが無いのがコミュニティづくり

白井 千香(神戸市保健福祉局)

東日本大震災後の岩手県内における健康調
査等から見えてくる現状とコミュニティづ
くり

佐々木亮平(岩手医科大学いわて東北メ
ディカル・メガバンク機構)

16:20~18:10

シンポジウム6「保健・医療・福祉の連携による妊
娠期からの切れ目ない子育て支援」

座長:佐藤 拓代(大阪府立母子保健総合医療セ
ンター母子保健情報センター)

毛受 矩子(四天王寺大学教育学部)

演者:フィンランドから学ぶ妊娠期からの切れ目
ない包括支援の取り組み

榭原 智子(読売新聞東京本社調査研究
本部)

周産期医療情報ネットワークシステム
“いーはとーぶ”による地域連携

小笠原敏浩(岩手県立大船渡病院)

名張版ネウボラの推進—名張市における切
れ目ない支援への挑戦

上田 紀子(名張市役所健康福祉部健康
支援室)

保健・医療サービスの間隙に落ちる妊婦と
特定妊婦への支援

佐藤 拓代(大阪府立母子保健総合医療
センター母子保健情報セン
ター)

第3会場 (長崎ブリックホール 2階 リハーサル室)

14:20~16:10

シンポジウム2「自殺対策の改革へ向けて—公衆衛生からの提言」

座長: 本橋 豊 (京都府立医科大学)

川上 憲人 (東京大学大学院医学系研究科)

演者: 自殺対策改革のコンセプトと方向性

本橋 豊 (京都府立医科大学)

自殺対策と死因究明制度—死の公共化がなぜ必要か?

反町 吉秀 (大妻女子大学大学院人間文化研究科公共健康学研究室)

経済学から見た自殺対策—改革への政策提言

澤田 康幸 (東京大学大学院経済学研究科)

社会の絆を強めるために何が必要か—シームレスな社会参加支援の視点から

藤原 佳典 (東京都健康長寿医療センター研究所社会参加と地域保健研究チーム)

16:20~18:10

シンポジウム7「地方衛生研究所研修フォーラム「最近問題となっている感染症に対する健康危機管理」」

座長: 四宮 博人 (愛媛県立衛生環境研究所)

皆川 洋子 (愛知県衛生研究所)

演者: 日本および愛媛県における重症熱性血小板減少症候群の現況と対策

四宮 博人 (愛媛県立衛生環境研究所)

東京都におけるデング熱対策

灘岡 陽子 (東京都健康安全研究センター企画調整部健康危機管理情報課)

インフルエンザ

皆川 洋子 (愛知県衛生研究所)

最近問題となっている感染症に対する健康危機管理 保健所の立場から

中里 栄介 (佐賀県唐津保健所, 全国保健所長会地域保健総合推進事業新興再興感染症危機管理支援事業分担事業者)

第4会場 (長崎ブリックホール 3階 会議室1~3)

12:20~13:20

ランチョンセミナー1「産婦人科領域における

HPV感染とその対策」

座長: 増崎 英明 (長崎大学病院 産婦人科)

演者: 金内 優典 (長崎大学病院 産婦人科)

共催: MSD 株式会社

14:20~16:10

シンポジウム3「公衆衛生における学会認定「専門家制度」のさらなる展開に向けて」

座長: 今中 雄一 (京都大学大学院医学研究科医療経済学分野)

磯 博康 (大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学教室)

演者: 世界の公衆衛生専門職の能力体系と制度

曾根 智史 (国立保健医療科学院)

保健師としての専門職の展開

麻原きよみ (聖路加国際大学看護学部)

公衆栄養分野の管理栄養士としての専門職の展開

武見ゆかり (女子栄養大学栄養学部)

研究者・行政官としての専門職の展開

武村 真治 (国立保健医療科学院健康危機管理研究部)

医師としての地域保健医療行政の展開

宮園 将哉 (大阪府四條畷保健所)

指定発言: 歯科公衆衛生の観点から

尾崎 哲則 (日本大学歯学部医療人間科学分野)

指定発言: 国際保健医療の視点から

遠藤 弘良 (東京女子医科大学国際環境・熱帯医学講座)

16:20~18:40

シンポジウム8「新たな専門医制度と公衆衛生専門医 (仮称) のあり方」

座長: 宇田 英典 (鹿児島県伊集院保健所)

坂元 昇 (川崎市健康福祉局)

演者: 新たな専門医に関する仕組みについて—行政の立場から—

中田 勝己 (厚生労働省健康局地域保健室)

公衆衛生専門医に求められるコンピテンシー

曾根 智史 (国立保健医療科学院)

専門医制度における卒後研修に果たす学会の役割

小泉 昭夫 (京都大学大学院医学研究科環境衛生学分野)

公衆衛生専門医制度への期待

磯 博康 (大阪大学大学院医学系研究科社会医学講座公衆衛生学)
社会医学系の専門医の制度化と学会・教育機関

今中 雄一 (京都大学大学院医学研究科医療経済学分野)

特別発言：日本産業衛生学会の専門医制度のこれまでとこれから

圓藤 吟史 (公益社団法人日本産業衛生学会, 大阪市立大学名誉教授)

特別発言：日本医師会の考える新しい専門医制度
小森 貴 (公益社団法人日本医師会)

第5会場(長崎ブリックホール 3階 会議室4~5)

12:20~13:20

ランチョンセミナー2「健康な歯を守るには」

座長：高塚 勉 (サンスター株式会社)

演者：神原 正樹 (大阪歯科大学 名誉教授)

共催：サンスター株式会社

14:20~15:50

シンポジウム4「多世代を巻き込む地域ぐるみの健康増進：ブランディングとエンパワメントの活用」

座長：安梅 勅江 (筑波大学医学医療系エンパワメント科学研究室)

演者：健康長寿ブランディングとエンパワメント
奥村 理加 (飛鳥村役場民生部保健福祉課)

ハッピー体操ブランディングとエンパワメント

河西 敏幸 (宮城大学共通教育センター)

夢の花ブランディングとエンパワメント

酒寄 学 (社会福祉法人芳香会)

保育パワーアップブランディングとエンパワメント

渡辺多恵子 (日本保健医療大学保健医療学部看護学科)

木育ブランディングとエンパワメント

田中 笑子 (筑波大学大学院医学医療系)

16:00~17:50

シンポジウム9「使いたくなる結核分子疫学：保健所での活用事例と結核対策の将来的展望」

座長：和田 崇之 (長崎大学熱帯医学研究所国際保健学分野)

長谷川麻衣子 (長崎県県南保健所)

演者：低蔓延地域における結核分子疫学の必要性
瀬戸 順次 (山形県衛生研究所微生物部)
大阪市・京都府における結核分子疫学の活用事例

山本 香織 (大阪市立環境科学研究所調査研究課)

保健所事業としての結核菌分子疫学解析の構築

藤山 理世 (神戸市保健所)

結核菌分子疫学調査からの院内コンタミネーション発見事例

田丸 亜貴 (大阪府立公衆衛生研究所感染症部細菌課)

第6会場(長崎ブリックホール 2階 練習室1)

14:20~16:10

シンポジウム5「長期入院精神しょうがい者の地域移行に向けた保健所の役割」

座長：篠崎 英夫 (日本公衆衛生協会理事長)

演者：国の役割

田原 克志 (厚生労働省 社会・援護局障害保健福祉部 精神・障害保健課)

わが国の精神医療改革の現状と課題

樋口 輝彦 (国立精神・神経医療研究センター)

長期入院精神障害者の地域移行に向けた保健所の役割

柳 尚夫 (兵庫県豊岡保健所)

精神保健福祉センターの役割

小泉 典章 (長野県精神保健福祉センター)

精神障害者の地域ケアと地域包括ケアシステムの中核拠点の地域包括支援センターの役割

青木 佳之 (全国地域包括・在宅介護支援センター協議会)

16:20~17:40

奨励賞受賞講演

「住居内寒冷暴露が血圧に及ぼす影響に関する疫学調査—冬季過剰死亡の抑制に向けて—」

座長：車谷 典男 (奈良県立医科大学地域健康医学講座)

演者：佐伯 圭吾 (奈良県立医科大学 地域健康医学講座)

「体力および身体活動と健康に関する疫学研究」

座長：武藤 孝司 (獨協医科大学医学部公衆衛生学講座名誉教授)

演者：澤田 亨（国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所）
 「介護予防対策のための疫学研究と公衆衛生活動」
 座長：辻 一郎（東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野）
 演者：遠又 靖丈（東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野）
 「改正精神保健福祉法における保健所の役割に関する研究」
 座長：藤内 修二（大分県福祉保健部）
 演者：中原 由美（福岡県糸島保健福祉事務所）

〈第2日目 2015年11月5日（木）〉

第1会場（長崎ブリックホール 2階 大ホール）

9：00～10：00

教育講演1「ライフステージと健康づくり：わが国の医療・介護皆保険制度の貢献と課題」

座長：本田 純久（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科地域リハビリテーション学分野）

演者：橋本 英樹（東京大学大学院公共健康医学専攻保健社会行動学分野）

10：10～12：00

シンポジウム10「公衆衛生学修士の社会への浸透を求めて」

座長：橋本 英樹（東京大学大学院公共健康医学専攻保健社会行動学分野）

馬場園 明（九州大学大学院医学研究院医療経営・管理学講座）

演者：行政医師のキャリアパスとしての公衆衛生系専門職大学院の活用

坂元 昇（川崎市健康福祉局）

専門職大学院からの報告；東京大学

橋本 英樹（東京大学大学院公共健康医学専攻保健社会行動学分野）

医学科修士課程で公衆衛生学修士を養成する立場から

磯 博康（大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学）

新たに公衆衛生学修士養成機関を設置する立場から

武林 亨（慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科・医学部衛生学公衆衛生学）

13：20～15：10

シンポジウム15「乳幼児健診の現状と未来 ～「健やか親子21（第2次）」の推進に向けて～」

座長：山縣然太郎（山梨大学大学院総合研究部医域社会医学講座）

一瀬 篤（厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課）

演者：全国共通の問診項目の利活用に向けて

松浦 賢長（福岡県立大学看護学部）

乳幼児健診における標準的な保健指導

草野恵美子（大阪医科大学看護学部公衆衛生看護学領域）

乳幼児健診の未受診者対策のあり方について

佐藤 拓代（大阪府立母子保健総合医療センター母子保健情報センター）

乳幼児健診事業の評価について

山崎 嘉久（あいち小児保健医療総合センター）

15：20～17：40

シンポジウム19「原子力災害時における住民の被ばく予防と精神健康リスク軽減の要点」

座長：神馬 征峰（東京大学大学院医学系研究科国際地域保健学教室）

小正裕佳子（獨協医科大学国際協力支援センター国際疫学研究室）

演者：原子力災害の初期・中期的な対応と放射線防護方策について考えよう

佐藤 齊（茨城県立医療大学）

チェルノブイリ，東海村，福島の原子力事故対応の課題

木村 真三（獨協医科大学国際協力支援センター国際疫学研究室）

チェルノブイリと福島：事故プロセス，放射能汚染，放射線被曝の比較検討

今中 哲二（京都大学原子炉実験所）

第2会場（長崎ブリックホール 3階 国際会議場）

9：00～10：00

教育講演2「わが国の循環器病予防の現状と今後の方向性」

座長：清水 悠路（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科社会医療科学講座地域医療学分野）

演者：北村 明彦（大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学器病予防部門）

10:10~12:00

メインシンポジウム2「放射線被ばくと健康影響」

座長：高村 昇（長崎大学原爆後障害医療研究所）

安村 誠司（福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座）

演者：原爆被爆者の長期健康影響について

小笹晃太郎（放射線影響研究所疫学部）

原爆被爆者における造血器疾患の疫学

宮崎 泰司（長崎大学原爆後障害医療研究所血液内科学研究分野）

原爆被爆者における精神健康影響

中根 秀之（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科精神障害リハビリテーション学分野）

チェルノブイリと福島：その相違と類似性について

高村 昇（長崎大学原爆後障害医療研究所）

福島県「県民健康調査」について

安村 誠司（福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座/福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター）

12:10~13:10

ランチョンセミナー3「新しい結核の診断と臨床応用について—IGRA から遺伝子検査まで—」

座長：草野 洋介（長崎女子短期大学生活創造学科）

演者：福島喜代康（日本赤十字社長崎原爆諫早病院，長崎大学医学部）

共催：日本ビーシージー製造株式会社

13:20~14:20

特別講演2「Important Contributions of Osteoporosis Epidemiology Studies」

座長：富田 雅人（長崎大学整形外科）

演者：Philip D. Ross（Forest Research Institute）

14:30~16:20

シンポジウム17「健康づくり・介護予防・社会参加に有益なNW/PWとフットケアの地域における活用」

座長：多田羅浩三（日本公衆衛生協会 大阪大学名誉教授）

山下 和彦（東京医療保健大学/大阪大学大学院医学系研究科ロボテ

ィクス&デザイン看工融合
共同研究講座）演者：住民主導型認知症予防教室にポールウォーキングを取り入れた健康づくり・町づくり
櫻井 好枝（千葉県鋸南町保健福祉課）
～健康寿命日本一のまちづくりをめざして～
～市民力を活かした志木市のNW/PWの取組

清水 裕子（志木市役所）

ポールを活用した地域密着型健康サービスの実現と継続にむけたサブリーダーづくり

杉浦 伸郎（一般社団法人 日本ポールウォーキング協会）

フットケア外来におけるメディカルフットケアによる足病予防と地域医療

三浦 和子（一関市国保藤沢病院）

健康づくりのためのフットケアによる足部機能の改善とNW/PWによる歩行機能の改善

山下 和彦（東京医療保健大学）

指定発言：2025年に向けた日本の課題 ～本当に必要な健康支援の在り方～

多田羅浩三（日本公衆衛生協会 大阪大学名誉教授）

16:30~18:20

シンポジウム20「わが国における電子たばこの規制のあり方について」

座長：中村 正和（公益社団法人地域医療振興協会 ヘルスプロモーション研究センター）

演者：電子タバコ：製品の概要と日本における使用の実態

田淵 貴大（大阪府立成人病センターがん予防情報センター疫学予防課）

電子タバコの成分分析と健康影響評価

樺田 尚樹（国立保健医療科学院生活環境研究部）

電子たばこの市場導入に伴うたばこ規制への影響

望月友美子（国立がん研究センターがん対策情報センターたばこ政策研究部）

ハームリダクションの観点からみた電子たばこの規制のあり方

中村 正和（公益社団法人地域医療振興協会 ヘルスプロモーション

ン研究センター)

指定発言：電子たばこ等のニコチン含有製品に対する規制のあり方

岡本 光樹(岡本総合法律事務所)

指定発言：日本学術会議における電子たばこに関する報告書の作成状況

矢野 栄二(帝京大学医学部衛生学公衆衛生学講座)

第3会場(長崎ブリックホール 2階 リハーサル室)

9:40~12:00

シンポジウム11「食品の新たな機能性表示制度は、健康寿命の延伸に寄与するか」

座長：古野 純典(国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所)

武見ゆかり(女子栄養大学 栄養学部)

演者：食品の新たな機能性表示制度について

清野富久江(消費者庁食品表示企画課)

食料生産・流通の視点から見た食品の新たな機能性表示制度への対応と懸念

三石 誠司(宮城大学食産業学部フードビジネス学科)

健康教育・栄養教育の実践における食品の新たな機能性表示制度への対応と懸念

赤松 利恵(お茶の水女子大学基幹研究院自然科学系)

健康情報リテラシーの視点から食品の新たな機能性表示制度を考える

中山 健夫(京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学分野)

12:10~13:10

ランチョンセミナー4「個々人の健康づくりを支える社会環境の実現」

座長：中村 正和(地域医療振興協会 ヘルスプロモーションセンター)

演者：辻 一郎(東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学専攻公衆衛生学分野)

共催：ファイザー株式会社

13:20~14:20

教育講演5「社会と健康—ジェンダーの視点」

座長：宗 陽子(長崎県福祉保健部医療政策課)

演者：本庄かおり(大阪大学グローバルコラボレーションセンター)

14:30~15:30

教育講演6「行動経済学は公衆衛生のブレークスルーを導くか?」

座長：大西真由美(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科地域リハビリテーション学分野)

演者：福田 吉治(帝京大学大学院公衆衛生学研究科)

15:40~18:00

シンポジウム21「2025年問題に対する公衆衛生の役割(国立保健医療科学院企画シンポジウム)」

座長：曾根 智史(国立保健医療科学院)

横山 徹爾(国立保健医療科学院生涯健康研究部)

演者：疾病予防分野から：地域の疾病予防と重症化予防に向けた連携強化

今井 博久(国立保健医療科学院)

福祉介護分野から：多職種多分野連携による地域包括ケアシステムの構築

森川 美絵(国立保健医療科学院医療・福祉サービス研究部)

人材育成分野から：超高齢社会における公衆衛生看護の人材育成の推進

松本 珠実(国立保健医療科学院)

居住環境分野から：安心安全な高齢者の「住まい」の整備

阪東美智子(国立保健医療科学院生活環境研究部)

第4会場(長崎ブリックホール 3階 会議室 1-3)

9:00~10:00

教育講演3「ロコモの疫学：ROAD スタディより」

座長：安部 恵代(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科公衆衛生学分野)

演者：吉村 典子(東京大学医学部附属病院22世紀医療センター関節疾患総合研究講座)

10:10~12:00

シンポジウム12「開発途上国から日本への回帰～国際保健の日本の公衆衛生・地域保健への貢献」

座長：松井 三明(長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科)

長谷川麻衣子(長崎県南保健所)

演者：佐久から世界へ、世界から佐久へ—地域医療と国際保健のつながり—

加藤 琢真(長野厚生連佐久総合病院国

際保健医療科)

母子の健康をグローバルに支える助産
野口真貴子 (北海道大学大学院保健科学
研究院)
おむつに頼りすぎない排泄ケア—開発途上
国の人々から学んだこと—
和田 智代 (おむつなし育児研究所,
NPO 法人 HANDS)
国際保健と地域保健の共通のプラットフ
ォームを模索する
長谷川麻衣子 (長崎県県南保健所)
卒前・卒後保健師教育強化と Master of
Public Health (MPH)
大西真由美 (長崎大学大学院医歯薬学総
合研究科リハビリテーショ
ン学分野)

12:10~13:10

ランチョンセミナー5「妊婦さんから気をつけたい
感染症対策と予防接種」
座長: 森内 浩幸 (長崎大学医学部小児科学教室)
演者: 森 雅亮 (東京医科歯科大学大学院医歯
学総合研究科薬害監視学講座)
共催: ジャパンワクチン株式会社, 第一三共株式
会社

14:30~16:20

シンポジウム18「在宅高齢者の口腔機能維持・向上
のために —医科歯科連携から—」
座長: 尾崎 哲則 (日本大学歯学部医療人間科学
分野)
三浦 宏子 (国立保健医療科学院)
演者: 在宅高齢者の口腔機能の維持・向上, 栄養
改善のための多職種連携の取り組み
白髭 豊 (医療法人白髭内科医院)
長崎における医科歯科連携の夜明け前から
角町 正勝 (角町歯科医院)
地域の口腔保健における看護職の役割
村中 峯子 (公益社団法人日本看護協会
健康政策部)
柏市の在宅医療・介護連携推進事業におけ
る, 医科歯科連携の取り組みについて
稲荷田修一 (柏市保健福祉部地域医療推
進室)

16:30~18:20

シンポジウム22「子どもの貧困と健康」
座長: 橋本 英樹 (東京大学大学院公共健康医学

専攻)

演者: 幼少期の逆境的经验の長期的影響: 経済学
的アプローチの発想と限界
小塩 隆士 (一橋大学経済研究所)
子どもの貧困と脳機能: 脳画像研究からの
示唆
大平 英樹 (名古屋大学大学院環境学研
究科心理学講座)
子どもの貧困と健康: 教育学の視点から
末富 芳 (日本大学文理学部)
子どもの貧困と健康: 疫学の視点から
藤原 武男 (国立成育医療研究センター
研究所)

第5会場 (長崎ブリックホール 3階 会議室 4-5)
9:40~12:00

シンポジウム13「彩の国発の地域基盤型専門職連携
教育による地域包括ケアシステムの構築」

座長: 宮山 徳司 (埼玉医科大学医療政策学)
演者: 埼玉県地域包括ケアの現状
本橋千恵美 (埼玉医科大学地域医学・医
療センター)

彩の国連携力育成プロジェクトで育成を目
指す人材

田口 孝行 (埼玉県立大学保健医療福祉
学部理学療法学科)

地域の保健医療福祉の課題を解決するた
めの専門職連携教育~効果的な IPE・IPW
の指向~

寫末 憲子 (埼玉県立大学社会福祉子
ども学科)

地域基盤型専門職連携教育による地域で役
に立つ専門職の育成

柴崎 智美 (埼玉医科大学地域医学・医
療センター)

12:10~13:10

ランチョンセミナー6「ウイルス感染予防と乳酸菌」
座長: 鈴木 弘章 (長キリン株式会社基盤技術研
究所)

演者: 坂田 清美 (岩手医科大学医学部衛生学公
衆衛生学)

石井 直明 (東海大学医学部基礎医学系分
子生命科学)

金山 雅也 (キリン株式会社基盤技術研
究所)

共催: キリン株式会社

13:20~15:40

シンポジウム16「世界における保健医療専門職コンピテンシー基盤型教育導入と公衆衛生大学院」

座長：橋本 英樹（東京大学大学院公共健康医学専攻保健社会行動学分野）

矢野 栄二（帝京大学大学院公衆衛生学研究科）

演者：求められるリーダー像 ～国内および世界の感染症対策の経験をふまえて～

尾身 茂（独立行政法人地域医療機能推進機構）

保健医療のパラダイムシフト

渋谷 健司（東京大学大学院医学系研究科国際保健政策学教室）

医学教育の現状と課題

佐々木昌弘（文部科学省高等教育局医学教育課）

公衆衛生大学院におけるコンピテンシー基盤型教育の実践

井上まり子（帝京大学大学院公衆衛生学研究科）

15:50~17:40

シンポジウム23「ヘルスサービスリサーチの現状と展望」

座長：近藤 克則（千葉大学予防医学センター環境健康学研究部門）

田宮菜奈子（筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野）

演者：医療アクセスの関連要因—JAGES プロジェクトの知見を中心に—

村田千代栄（国立長寿医療研究センター老年社会科学研究所）

介護保険レセプトを用いた介護保険サービスの質の評価

柏木 聖代（横浜市立大学医学部看護学）

自治体参加型研究の構築と運営

鳥本 靖子（公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団）

行政と研究者の協働による介護予防事業の運営と評価

鈴木 宏幸（東京都健康長寿医療センター研究所社会参加と地域保健研究チーム）

ヘルスサービスリサーチの観点からみた柏市の在宅医療推進

吉江 悟（東京大学医学部在宅医療学拠点）

18:00~19:00

特別講演3「難解, ロコモティブシンドローム」

座長：尾崎 誠（長崎大学整形外科）

演者：小関 弘展（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科医療科学専攻運動障害リハビリテーション学分野）

第6会場（長崎ブリックホール 2階 練習室1）

9:00~10:00

教育講演4「多職種ですすめる歯科保健」

座長：福田 英輝（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科口腔保健学）

演者：安藤 雄一（国立保健医療科学院）

10:10~12:00

シンポジウム14「ライフステージにあわせた SOC (Sense of Coherence) と健康支援」

座長：山崎喜比古（日本福祉大学社会福祉学部）

平野 裕子（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻）

演者：日本人成人のライフステージ別にみた SOC とその関連要因

戸ヶ里泰典（放送大学教養学部生活と福祉コース）

地域で生活する精神障害者のサルートジェニック・サロン

坂野 純子（岡山県立大学保健福祉学部保健福祉学科）

逆境下成長と SOC～口唇口蓋裂児の母親への調査から～

大宮 朋子（東邦大学看護学部地域看護学研究室）

高齢者における SOC の変化と身体活動との関連

門間 貴史（日本学術振興会, 筑波大学人間総合科学研究科）

14:30~15:30

教育講演7「地域・職域における医療情報の利活用～包括的な保健医療福祉サービス提供を目指して～」

座長：後藤 尚（長崎県五島保健所）

演者：林田 賢史（産業医科大学病院医療情報部）

15:40~18:00

シンポジウム24「地域包括ケアの推進～元気づくり

システムを基軸とした幸せな生活の場づくりを考える～」

座長：大平 利久(一般社団法人元気づくり大学)
檀本 真聿(愛媛大学医学部附属病院総合診療サポートセンター)

演者：指定管理者としての健康増進づくりへのアプローチ

関口 昌和(一般財団法人どんぐり財団)
元気づくりシステム参加者から発現する新たな地域資源

山田 健次(NPO法人A-lifeなんかん)
元気づくりシステムと人材育成
渡辺 義弘(福島県伊達市健康福祉部)
「元気づくりシステム」を地域包括ケアシステムに活かす
伊藤 俊樹(三重県いなべ市福祉部長寿福祉課)

<第3日目 2015年11月6日(金)>

第1会場(長崎ブリックホール 2階 大ホール)

9:00~10:00

教育講演8「認知症予防と運動」

座長：増田 和茂(公益財団法人健康・体力づくり事業財団)

演者：鈴木 隆雄(桜美林大学 加齢・発達研究所)

10:10~12:00

シンポジウム26「認知症予防における身体活動・運動の意義 一疫学から実践まで一」

座長：下光 輝一(公益財団法人健康・体力づくり事業財団)

宮地 元彦(国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所)

演者：久山町研究からみた認知症

二宮 利治(九州大学大学院医学研究院 附属総合コホートセンター)

草津町研究からみた認知機能低下の予測因子

谷口 優(東京都健康長寿医療センター研究所)

身体活動・運動による認知症予防：その疫学的エビデンス

宮地 元彦(医薬基盤・健康・栄養研究所)

認知機能低下予防のための運動プログラム「実践と提案」

松浦亜紀子(e-エクササイズ)

指定発言：精神科病院が取り組む認知症予防と高齢者支援について

石井 千恵(医療法人社団清心会藤沢病院)

第2会場(長崎ブリックホール 3階 国際会議場)

10:10~12:00

シンポジウム27「青少年の生活習慣と健康」

座長：尾崎 米厚(鳥取大学医学部環境予防医学分野)

兼板 佳孝(大分大学医学部公衆衛生・疫学講座)

演者：青少年の飲酒問題の実態と対策

尾崎 米厚(鳥取大学医学部環境予防医学分野)

わが国の中高生における喫煙率の変遷とその要因

神田 秀幸(島根大学医学部環境保健医学講座)

青少年の携帯電話の使用

井谷 修(大分大学医学部公衆衛生・疫学講座)

青少年の睡眠習慣

池田 真紀(日本大学医学部社会医学系公衆衛生学分野)

第3会場(長崎ブリックホール 2階 リハーサル室)

9:00~10:00

教育講演9「我が国の健康危機管理対策の現状と課題」

座長：藤田 利枝(長崎県県央保健所/長崎県上五島保健所)

演者：金谷 泰宏(国立保健医療科学院健康危機管理研究部)

10:10~12:00

シンポジウム28「国際的な視点を持った公衆衛生医師の育成を目指して」

座長：遠藤 弘良(東京女子医科大学 国際環境・熱帯医学講座)

伊東 則彦(北海道根室・中標津保健所/根室振興局/札幌医科大学公衆衛生学講座)

演者：国際保健と公衆衛生人材の育成について

田中 剛(WHO 西太平洋事務局)

公衆衛生医師の確保と育成の観点からの全国保健所長会の取り組み

宇田 英典 (鹿児島県伊集院保健所)
国際保健医師の養成 現場に必要なコンピ
テンシーとは

仲佐 保 (国立国際医療研究センター)
国際研修への日本人医師の参加と日本の公
衆衛生対策への波及効果

平尾 晋 (公益財団法人結核予防会結
核研究所)

東京都におけるアジア感染症対策プロジェ
クト等による人材育成の取り組みについて
森川 雪子 (世田谷区烏山総合支所健康
づくり課)

12:10~13:10

ランチョンセミナー7「電磁過敏症 —WHOの見
解—」

座長: 牛山 明 (国立保健医療科学院生活環境
研究部)

演者: 大久保千代次 (一般財団法人電気安全環境
研究所電磁界情報センター)

共催: 一般財団法人電気安全環境研究所電磁界情
報センター

第4会場 (長崎ブリックホール 3階 会議室 1-3)

9:00~10:00

教育講演10「睡眠と健康」

座長: 有馬 和彦 (長崎大学大学院医歯薬学総合
研究科公衆衛生学分野)

演者: 黒田 嘉紀 (宮崎大学医学部社会学講座公
衆衛生学分野)

10:10~12:00

メインシンポジウム3「地球規模環境・健康課題と
日本の地域保健・公衆衛生」

座長: 渡辺 知保 (東京大学大学院医学系研究科
人類生態学)

門司 和彦 (長崎大学大学院熱帯医学グ
ローバルヘルス研究科)

演者: 地球規模環境・健康課題と日本の地域保
健・公衆衛生: 課題設定

門司 和彦 (長崎大学大学院熱帯医学グ
ローバルヘルス研究科)

地球温暖化の健康影響: 世界と日本

橋爪 真弘 (長崎大学熱帯医学研究所)

暑熱・大気環境と健康: 環境

渡辺 知保 (東京大学大学院医学系研究
科人類生態学)

降雨, 洪水, 水環境と健康: 世界と日本

渡部 徹 (山形大学農学部食料生命環
境学科)

日本版持続可能な開発目標

山本 太郎 (長崎大学熱帯医学研究所国
際保健学教室)

Future Earth と人間健康

Mallee Hein (総合地球環境学研究所)

第5会場 (長崎ブリックホール 3階 会議室 4-5)

9:00~10:00

教育講演11「栄養成分表示の義務化は健康な食品選
択を促進させるか—食物選択動機と表示の利用—」

座長: 堀口 逸子 (国立大学法人長崎大学広報戦
略本部)

演者: 赤松 利恵 (お茶の水女子大学基幹研究院
自然科学系)

10:10~11:10

教育講演12「少子化の行方と母子保健 —公衆衛
生, 疫学の役割とはなにか—」

座長: 松井 三明 (長崎大学大学院熱帯医学・グ
ローバルヘルス研究科)

演者: 三砂ちづる (津田塾大学国際関係学科)

12:10~13:10

ランチョンセミナー8「地域力が問われる認知症診
療」

座長: 佐藤 克也 (長崎大学大学院医歯薬学総合
研究科 運動障害リハビリ
テーション学分野 (神経内科
学分野))

演者: 長郷 国彦 (JCHO 諫早総合病院 認知
症疾患医療センター)

共催: エーザイ株式会社

第6会場 (長崎ブリックホール 2階 練習室 1)

9:00~10:50

シンポジウム25「「健康格差の縮小」をどう進める
か—健康格差対策の7原則」

座長: 近藤 克則 (千葉大学予防医学センター)

橋本 英樹 (東京大学大学院公共健康医学
専攻保健社会行動学分野)

演者: 健康格差対策を〈はじめる〉〈考える〉原
則

近藤 尚己 (東京大学)

「健康格差対策の7原則」の第5原則「重
層的対策」について

稲葉 陽二 (日本大学法学部政治経済学

科)
 健康格差対策を〈動かす〉原則
 尾島 俊之 (浜松医科大学健康社会医学
 講座)
 神戸市における介護予防の取り組み—健康
 格差縮小に向けて
 岡田 尚 (神戸市北区保健福祉部北神
 保健福祉課)

9 一般演題

一般演題数 合計1,461件

分科会	分科会名	演題数
第1分科会	疫学・保健医療情報	77
第2分科会	ヘルスプロモーション	103
第3分科会	生活習慣病・メタボリックシンドローム	137
第4分科会	保健行動・健康教育	52
第5分科会	親子保健・学校保健	161
第6分科会	高齢者のQOLと介護予防	159
第7分科会	高齢者の医療と福祉	78
第8分科会	地域社会と健康	81
第9分科会	難病・障害の医療と福祉	26
第10分科会	精神保健福祉	43
第11分科会	口腔保健	25
第12分科会	感染症	60
第13分科会	健康危機管理	63
第14分科会	医療制度・医療政策	45
第15分科会	公衆衛生従事者育成	74
第16分科会	保健所・衛生行政・地域保健	62
第17分科会	公衆栄養	63
第18分科会	健康運動指導	37
第19分科会	食品衛生・薬事衛生	14
第20分科会	産業保健	44
第21分科会	環境保健	43
第22分科会	国際保健	14
合 計		1,461

10 各プログラム参加人数（概数）

〈第1日目 2015年11月4日（水）〉

会場	プログラム	演題等	参加者概数
第1会場	開会式		260名
	学会長講演	介護予防と運動器の健康	380名
	招待講演	いつもチャレンジ精神で	490名
	特別講演1	近代医学の誕生—公衆衛生分野に力点をおいて—	190名
	メインシンポジウム1	ライフステージに合わせた健康づくり	250名
第2会場	シンポジウム1	大規模災害から健やかな日常生活への円滑な復興にむけて	115名
	シンポジウム6	保健・医療・福祉の連携による妊娠期からの切れ目ない子育て支援	174名
第3会場	シンポジウム2	自殺対策の改革へ向けて—公衆衛生からの提言	162名
	シンポジウム7	地方衛生研究所研修フォーラム「最近問題となっている感染症に対する健康危機管理」	70名
第4会場	シンポジウム3	公衆衛生における学会認定「専門家制度」のさらなる展開に向けて	120名
	シンポジウム8	新たな専門医制度と公衆衛生専門医（仮称）のあり方	85名
第5会場	シンポジウム4	多世代を巻き込む地域ぐるみの健康増進：ブランディングとエンパワメントの活用	138名
	シンポジウム9	使いたくなる結核分子疫学：保健所での活用事例と結核対策の将来的展望	72名
第6会場	シンポジウム5	長期入院精神しょうがい者の地域移行に向けた保健所の役割	100名
	奨励賞受賞講演		80名

〈第2日目 2015年11月5日（木）〉

会場	プログラム	演題等	参加者概数
第1会場	教育講演1	ライフステージと健康づくり：わが国の医療・介護皆保険制度の貢献と課題	290名
	シンポジウム10	公衆衛生学修士の社会への浸透を求めて	130名
	シンポジウム15	乳幼児健診の現状と未来 ～「健やか親子21（第2次）」の推進に向けて～	280名
	シンポジウム19	原子力災害時における住民の被ばく予防と精神健康リスク軽減の要点	110名
第2会場	教育講演2	わが国の循環器病予防の現状と今後の方向性	163名
	メインシンポジウム2	放射線被ばくと健康影響	147名
	特別講演2	Important Contributions of Osteoporosis Epidemiology Studies	51名
	シンポジウム17	健康づくり・介護予防・社会参加に有益なNW/PWとフットケアの地域における活用	73名
	シンポジウム20	わが国における電子たばこの規制のあり方について	81名
第3会場	シンポジウム11	食品の新たな機能性表示制度は、健康寿命の延伸に寄与するか	90名
	教育講演5	社会と健康—ジェンダーの視点	230名
	教育講演6	行動経済学は公衆衛生のブレークスルーを導くか？	250名
	シンポジウム21	2025年問題に対する公衆衛生の役割（国立保健医療科学院企画シンポジウム）	220名

会場	プログラム	演題等	参加者概数
第4会場	教育講演3	ロコモの疫学：ROAD スタディより	100名
	シンポジウム12	開発途上国から日本への回帰～国際保健の日本の公衆衛生・地域保健への貢献	80名
	シンポジウム18	在宅高齢者の口腔機能維持・向上のために ―医科歯科連携から―	50名
	シンポジウム22	子どもの貧困と健康	190名
第5会場	シンポジウム13	彩の国発の地域基盤型専門職連携教育による地域包括ケアシステムの構築	95名
	シンポジウム16	世界における保健医療専門職コンピテンシー基盤型教育導入と公衆衛生大学院	102名
	シンポジウム23	ヘルスサービスリサーチの現状と展望	104名
	特別講演3	難解，ロコモティブシンドローム	84名
第6会場	教育講演4	多職種ですすめる歯科保健	105名
	シンポジウム14	ライフステージにあわせた SOC (Sense of Coherence) と健康支援	120名
	教育講演7	地域・職域における医療情報の利活用～包括的な保健医療福祉サービス提供を目指して～	110名
	シンポジウム24	地域包括ケアの推進～元気づくりシステムを基軸とした幸せな生活の場づくりを考える～	120名

〈第3日目 2015年11月6日(金)〉

会場	プログラム	演題等	参加者概数
第1会場	特別講演8	認知症予防と運動	190名
	シンポジウム26	認知症予防における身体活動・運動の意義 ―疫学から実践まで―	280名
第2会場	シンポジウム27	青少年の生活習慣と健康	100名
第3会場	教育講演9	我が国の健康危機管理対策の現状と課題	67名
	シンポジウム28	国際的な視点を持った公衆衛生医師の育成を目指して	42名
第4会場	教育講演10	睡眠と健康	120名
	メインシンポジウム3	地球規模環境・健康課題と日本の地域保健・公衆衛生	95名
第5会場	教育講演11	栄養成分表示の義務化は健康な食品選択を促進させるか ―食物選択動機と表示の利用―	68名
	教育講演12	少子化の行方と母子保健 ―公衆衛生，疫学の役割とはなにか―	91名
第6会場	シンポジウム25	「健康格差の縮小」をどう進めるか―健康格差対策の7原則	120名

11 自由集会

〈11月4日（水）17:00～19:00〉

番号	集 会 名	会 場	参加者数
1	第8回公衆衛生・公衆栄養分野における管理栄養士の活動を考える会	「えきまえ」いきいきひろば 3階4号室	29名
2	結核集団発生の対策に関する自由集会	「えきまえ」いきいきひろば 3階11号室	100名

〈11月4日（水）17:00～18:30〉

番号	集 会 名	会 場	参加者数
3	モニタリング・レポート感染症・食品衛生・薬事衛生	「えきまえ」いきいきひろば 3階1号室	11名
4	住民、行政が協働した地域づくりを考える	「えきまえ」いきいきひろば 3階2号室	10名
5	コミュニティ・エンパワメントの評価と研究	「えきまえ」いきいきひろば 3階5号室	情報なし
6	公衆衛生医師の集い	「えきまえ」いきいきひろば 3階10号室	31名
7	“地域の力”（ソーシャル・キャピタル）と健康—最新の知見と実際の保健医療行政への応用（測定・評価・研究編）—	「えきまえ」いきいきひろば 3階13号室	50名

〈11月4日（水）18:00～20:00〉

番号	集 会 名	会 場	参加者数
8	アクションリサーチで健康づくり!!	長崎県歯科医師会館 2階 大会議室	21名

〈11月4日（水）19:00～21:00〉

番号	集 会 名	会 場	参加者数
9	全国いきいき公衆衛生の会	長崎ブリックホール 2階 リハーサル室	情報なし
10	保健師のキャリア ～明日のために、今考える～	長崎ブリックホール 2階 練習室1	53名
11	家族介護者の理解は在宅ケアのカギとなる！～認知症カフェでの取り組みから	長崎ブリックホール 3階 会議室4-5	4名
13	保健師記録の質向上を目指す交流集会	長崎県医師会館 3階 第2中会議室	21名
14	第18回レセプト情報の活用を考える集会	「えきまえ」いきいきひろば 3階5号室	47名
15	～知ろう・語ろう・取り組もう～ 一歩先行く 健やか親子21（第2次）	「えきまえ」いきいきひろば 3階10号室	26名
16	住民とともに活動する保健師の会「保健師魂と公衆衛生活動」	「えきまえ」いきいきひろば 3階11号室	情報なし
17	公衆衛生学と感染症数理モデルに関する研究会	「えきまえ」いきいきひろば 3階13号室	8名

*以下、キャンセル

12. 生活困窮者の健康支援における保健師の役割と機能

〈11月4日(水) 19:00~20:30〉

番号	集 会 名	会 場	参加者数
18	日本 HIA 研究会	「えきまえ」いきいきひろば 3階1号室	情報なし
19	健康教育教材としてのゲーミング：実際にゲームを体験してみよう！	「えきまえ」いきいきひろば 3階4号室	情報なし
20	第3回職業感染ネットワークの集い	長崎県医師会館 2階 第1中会議室	11名
21	共有しよう 都道府県等における難病施策の再編や保健所等における難病保健活動・難病対策地域協議会のこと 共催：平成27年度厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患等政策研究事業）【難病患者への支援体制に関する研究班】	長崎県総合福祉センター 4階 会議室（V3）	情報なし
22	第24回多胎児を産み育てる家族への保健サービスを考える集会	長崎県総合福祉センター 4階 中会議室	6名

〈11月5日(木) 17:00~19:00〉

番号	集 会 名	会 場	参加者数
23	体験しよう！相談者の“自ら変わる”を引き出す動機づけ面接法～ダイエットから携帯依存まで～	「えきまえ」いきいきひろば 3階2号室	20名
24	健康日本21（第二次）の推進における健康づくり及び栄養・食生活改善に関する効果的展開に関する研究	「えきまえ」いきいきひろば 3階4号室	25名
25	感染症情報の現状と展望を考える会	長崎県医師会館 2階 第1中会議室	44名

〈11月5日(木) 17:00~18:30〉

番号	集 会 名	会 場	参加者数
26	フランシス・ゴルトンの会	「えきまえ」いきいきひろば 3階1号室	情報なし
27	県民健康・栄養調査等行政栄養調査の調査法再考：BDHQ利用の可能性と課題	「えきまえ」いきいきひろば 3階5号室	32名
28	介護保険情報エビデンスから認知症者ケアを考える	「えきまえ」いきいきひろば 3階9号室	情報なし
29	“地域の力”（ソーシャル・キャピタル）と健康—最新の知見と実際の保健医療行政への応用（活用・実践・政策編）	「えきまえ」いきいきひろば 3階11号室	情報なし
30	公衆衛生に国境はない	「えきまえ」いきいきひろば 3階13号室	42名
31	保健医療データ分析のための Amos & SPSS の活用講座	「えきまえ」いきいきひろば 3階14号室	21名
32	「多職種で考える・進める歯科保健—公衆衛生から見たフッ化物応用—」	長崎県総合福祉センター 4階 中会議室	情報なし
33	男性保健師の会	長崎県歯科医師会館 2階 大会議室	情報なし

〈11月5日(木) 19:00~21:00〉

番号	集 会 名	会 場	参加者数
34	「健康づくりと運動」自由集会	長崎ブリックホール 3階 国際会議場	30名
35	第4回低線量被曝と健康被害を考える集い	長崎ブリックホール 2階 リハーサル室	40名
36	全国衛生行政研究会セミナー	長崎ブリックホール 2階 練習室1	情報なし
37	自殺予防政策における学際的領域を考える会	「えきまえ」いきいきひろば 3階1号室	16名
38	開業保健師のつどい	「えきまえ」いきいきひろば 3階2号室	情報なし
39	前向き子育てプログラム—その理論と実践	「えきまえ」いきいきひろば 3階4号室	12名
40	地域包括ケアに向けたエビデンス—市町村でどう作り、どう活用するか	「えきまえ」いきいきひろば 3階5号室	29名
41	世代間交流によるコミュニティ再生を考える会Ⅳ —多世代共創社会を考える—	「えきまえ」いきいきひろば 3階9号室	26名
42	第7回若葉保健師からのメッセージ～語る保健師には“縁”来る～	「えきまえ」いきいきひろば 3階10号室	15名
43	公衆衛生看護を語る会～保健所と市町村と大学と協働した地域診断～	「えきまえ」いきいきひろば 3階11号室	45名
44	学生とともに行う被災地支援～福島県内被災高齢者共同住宅での支援を通して～	「えきまえ」いきいきひろば 3階13号室	情報なし
45	喫煙対策	「えきまえ」いきいきひろば 3階14号室	28名
46	PDCAサイクルを回す—「個」から「地域」へ広げる保健師活動— (第2回) 力量形成編	長崎県医師会館 2階 第1中会議室	35名
47	全国がん登録への移行とがん患者に届く情報発信	長崎県総合福祉センター 4階 会議室(V3)	38名
48	住まいと健康フォーラム～当事者を中心とした住まい・住まい方と多職種連携～	長崎県歯科医師会館 2階 大会議室	15名

〈11月5日(木) 19:00~20:30〉

番号	集 会 名	会 場	参加者数
49	公衆衛生情報の有効活用—「公衆衛生ねっと」を中心に—	長崎ブリックホール 3階 会議室1-3	40名
50	保健事業外部委託のマネジメントを考える	長崎県総合福祉センター 3階 講座室	8名
51	ノルディック・ポールウォーキングによる健康支援～1次・2次予防への運動効果と今後の展開を考える～	長崎県総合福祉センター 4階 中会議室	17名

12 展示ブース

〈紹介ブース（一般展示）〉

- 特定非営利活動法人 ウェルビーイング
- 特定非営利活動法人 ADMS
- 特定非営利活動法人 NSCA ジャパン
- 大阪大学大学院医学系研究科附属 ツインリサーチセンター
- 岡山大学医療教育統合開発センター
- 熊本学園大学
- 慶応義塾大学
- 結核研究所
- 国立保健医療科学院
- 国立がん研究センター
- 滋賀医科大学
- ストップ結核パートナーシップ日本
- 聖路加国際大学大学院
- 全国保健師長会
- 公益社団法人 地域医療振興協会
- 特定非営利活動法人 地域がん登録全国協議会
- チームグクル合同会社
- 学校法人 帝京大学（帝京大学大学院 公衆衛生学研究科（専門職大学院））
- 東京医療保健大学メディカルフットケア JF 協会
- 東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻
- 地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所
- 東邦大学 看護学部
- 東北大学大学院医学系研究科
- 東北大学 東北メディカル・メガバンク機構
- 国立大学法人長崎大学
- 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科
- 長崎大学大学院 熱帯医学・グローバルヘルス研究科事務室
- 前向き子育てプログラム
- 山梨大学大学院
- 山梨大学大学院 社会医学講座
- 有効性評価に基づくがん検診ガイドライン

〈紹介ブース（企画展示）〉

- 公益在団法人 健康・体力づくり事業財団
- 千葉県市原市
- 道立根室・中標津保健所

〈機器展示〉

- 株式会社いわさき
- 株式会社インボディ・ジャパン
- ESRI ジャパン株式会社
- オックスフォード・イムノテック株式会社
- 株式会社キアゲン
- キリン株式会社
- 株式会社健康日本総合研究所
- サンスター株式会社
- セリスタ株式会社
- 宝通商株式会社
- 長崎蒲鉾有限会社
- 一般社団法人日本家族計画協会
- 日本ビーシージー製造株式会社
- パナソニック株式会社 アプライアンス社
- パナソニックヘルスケア株式会社
- 株式会社 VIP グローバル
- 株式会社メルシー
- 株式会社 YKC

〈書籍展示〉

- 株式会社紀伊國屋書店 福岡本店
- 株式会社クマノミ出版
- 一般財団法人厚生労働統計協会
- 株式会社東京法規出版
- 株式会社ニホン・ミック

13 付随行事

行 事 名	日 程		会 場
	月 日	時 間	
<関連行事>			
日本公衆衛生学会理事会	11月3日(火)	11:00~12:30	長崎ブリックホール 3階 会議室 4-5
日本公衆衛生学会評議員会	11月3日(火)	13:30~15:00	長崎ブリックホール 3階 会議室 1-3
日本公衆衛生雑誌拡大編集委員会	11月4日(水)	12:20~13:20	長崎ブリックホール 2階 練習室 1
平成27年度 感染症事例のリスクアセスメント研修会	11月6日(金)	13:00~17:00	長崎ブリックホール 2階 練習室 1 リハーサル室
自由集会	11月4日(水) 11月5日(木)	※詳しい時間、 い。	会場は自由集会開催案内ページをご参照ください。
<付随行事>			
衛生学公衆衛生学教育協議会総会	11月3日(火)	15:30~18:30	長崎ブリックホール 3階 会議室 1-3
全国衛生部長会議			
役員会	11月3日(火)	10:30~12:30	ホテルニュー長崎 真鶴の間
総会	11月3日(火)	12:30~16:30	ホテルニュー長崎 鳳凰閣 西
情報交換会	11月3日(火)	17:30~19:30	ホテルニュー長崎 丹頂の間
平成27年度政令市保健所長連絡協議会 (全国保健所長会政令市部会) 総会	11月2日(月)	10:00~12:00	平安閣サンプリエール
平成27年度全国政令市衛生部局長会			
総会	11月2日(月)	14:00~16:00	平安閣サンプリエール
会長表彰式	11月2日(月)	16:30~17:00	平安閣サンプリエール
情報交換会	11月2日(月)	18:00~20:00	平安閣サンプリエール
全国保健所長会			
第72回総会	11月3日(火)	10:00~17:00	ホテルニュー長崎 鳳凰閣 東中
研究事業報告	11月3日(火)	10:00~17:00	ホテルニュー長崎 鳳凰閣 東中
会員協議	11月3日(火)	10:00~17:00	ホテルニュー長崎 鳳凰閣 東中
意見交換会	11月3日(火)	17:30~19:30	ホテルニュー長崎 鳳凰閣 西
地方衛生研究所全国協議会			
第66回総会	11月3日(火)	13:30~16:30	ベストウェスタンプレミアムホテル プレミアホール 1/3
情報交換会			ベストウェスタンプレミアムホテル 衛生部長会合同開催予定
全国精神保健福祉センター長会 同研究協議会			
理事会	11月3日(火)	11:00~12:00	ホテルセントヒル長崎 絹笠
センター長会議	11月3日(火)	13:00~14:45	ホテルセントヒル長崎 妙見
研究協議会	11月3日(火)	15:00~17:00	ホテルセントヒル長崎 妙見
	11月4日(水)	9:00~16:00	ホテルセントヒル長崎 妙見
意見交換会	11月3日(火)	17:30~19:00	ホテルセントヒル長崎 紫陽花
全国保健統計協議会			
役員会	11月3日(火)	11:30~12:00	ホテルニュー長崎 海鳳の間
総会	11月3日(火)	13:00~14:00	ホテルニュー長崎 海鳳の間
講演会・事例発表	11月3日(火)	14:10~16:00	ホテルニュー長崎 海鳳の間
全国保健師教育機関協議会			
理事会	11月3日(火)	午 前	長崎県総合福祉センター
秋期教員研修会	11月3日(火)	13:00~17:00	長崎県総合福祉センター
懇親会	11月3日(火)	18:00~20:00	LUKE PLAZA HOTEL

14 第74回日本公衆衛生学会総会収支決算

〈収入〉

(単位：円)

科 目	決算額	内 訳
1 負担金収入	12,423,000	
(1) 都道府県等分担金	4,923,000	47都道府県, 20政令指定都市 (定額)
(2) 公衆衛生学会負担金	3,000,000	日本公衆衛生学会
(3) 開催地負担金	4,500,000	長崎県: 300万円, 長崎市: 150万円
2 抄録集売上収入	26,421,000	
(1) 事前予約販売	16,515,000	2,202件 (@7,500円)
(2) 抄録集送料	714,000	1,428件 (@500円)
(3) 当日販売	9,112,000	1,139件 (@8,000円)
(4) 通信販売	80,000	10件 (@8,000円)
3 演題申込金収入	4,413,000	1,471件 (@3,000円)
4 学会長懇談会参加費収入	270,000	
(1) 学会長懇談会申込	270,000	45件 (@6,000円)
5 意見交換会参加費収入	328,000	
(1) 意見交換会申込	328,000	41件 (@8,000円)
6 諸収入	20,007,345	
(1) 広告料収入	1,188,000	1件 (@216,000円), 2件 (@162,000円), 10件 (@108,000円), 10件 (@54,000円)
(2) 企業展示出展料収入	4,320,000	20小間 (@216,000円)
(3) 一般展示出展料収入	945,000	35小間 (@27,000円)
(4) 書籍展示出展料収入	151,200	14小間 (@10,800円)
(5) 物産展示出展料収入	120,021	各社売上の5%
(6) ランチョンセミナー共催金収入	9,504,000	1件 (@1,512,000円), 2件 (@1,296,000円), 5件 (@1,080,000円)
(7) 寄付・助成金収入	3,750,000	17件
(8) 日整会単位登録料収入	26,000	26名 (@1,000円)
(9) 雑収入	3,124	預金利息他
合 計	63,862,345	

〈支出〉

(単位：円)

科 目	決算額	内 訳
1 事前準備費	18,596,662	
(1) 事務局費	2,053,000	事務局人件費, 連絡調整費
(2) 会議費・主催者交通費等	123,575	実行委員会, 学術部会, 連絡会議, 打合せ会議等
(3) 前回大会視察・プロモーション経費	253,040	栃木総会視察
(4) ホームページ作成費	408,240	Web作成・更新, サーバー使用料等
(5) 演題登録・参加登録関連費	1,195,236	システム構築・管理・利用費
(6) 通信運搬費	1,429,685	発送代
(7) 印刷・制作費	12,986,352	封筒, 抄録集, 参加証, ポケット日程表等
(8) 消耗品費	25,920	
(9) その他	121,614	郵便振替加入者負担金等
2 当日運営費	29,977,967	
(1) 会場関連費	6,111,077	会場使用料, 付帯設備費
(2) 当日運営人件費	5,974,560	ディレクター・スタッフ人件費
(3) 音響・映像関連機材	6,277,500	プロジェクター, パソコン等
(4) 看板・展示・備品関連費	9,651,960	看板, 展示小間, ポスターパネル等
(5) シャトルバス	0	情報交換会往復等
(6) 託児所手配	0	
(7) 運営交通・宿泊・料飲費	655,164	ディレクター・スタッフ・主催者・控室料飲
(8) 会議用備品	1,307,706	文具, コピー機レンタル, 携帯電話レンタル等
3 招請費	4,289,342	謝金, 交通費
4 関連行事費	3,329,712	
5 事後処理費	3,328,244	引継会資料, 報告書
6 運業者委託費	4,340,418	
合 計	63,862,345	